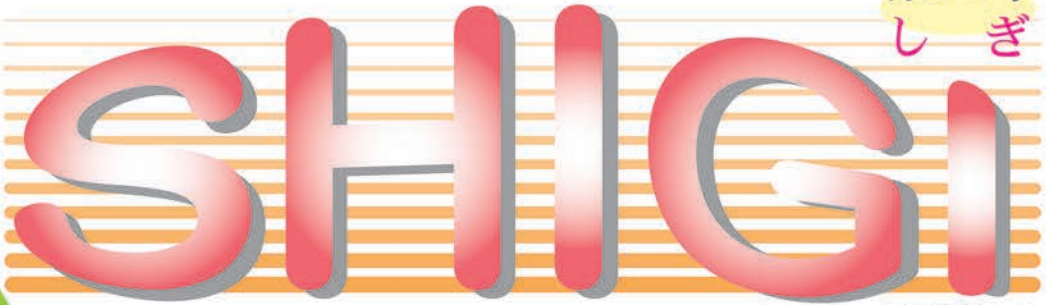




koseikai



編集発行人／医療法人厚生会 奈良厚生会病院

〒639-1039 奈良県大和郡山市椎木町769-3 TEL.0743-56-5678

奈良厚生会病院ウェブサイト URL <http://www.nara-koseikai.or.jp>

令和7年1月

新年の

ご挨拶

医療法人厚生会 理事長
奈良厚生会病院 院長
三笠 桂一

むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは97歳、軽い認知症があり、長年の農作業で足腰を傷め、一人歩きがやっとのことでした。おばあさんは、95歳で持病がありましたが、小言を言いながらもおじいさんの世話をかいたが、いよいよやってきました。ある日、大雨があり、おじいさんは大事にしていた川岸にある田畑の様子を見に行きました。すると、川上からドンブラコ、ドンブラコと、大きな桃ならぬ土砂が流れてきました。おじいさんはそれ以後帰らぬ人となりました。おばあさんはすっきり気落ちし、寝込む日も多くなり食もほとんど細くなりました。里に住む息子夫婦は心配して何度も何度もおばあさんの家を訪ねました。息子夫婦は70歳で少しの蓄えがありましたが、今の生活を維持するのが精一杯でした。息子夫婦は悩みました。今の自分たちがここへ引越して母親の面倒を見るか、母親を里にある自分たちの住まいに引き取り面倒を見るかです。しかし、おばあさんは思い出の詰まったこの家での死を望みました。途方に暮れた息子夫婦は、ある日、通りすがりの名も知れない病院を訪ねました。すると、どうでしょう。玄関を入ると、全体にピンク色に統一され、暖かい雰囲気包まれ、職員は優しく、そして、キビキビと動いていました。2階に上がり病棟を見学しましたが、清潔で、整頓され、院内感染や医療事故とは無縁の医療の質の高さを感じ取れました。また、介護医療院は、全国の介護医療院の手本となるようにモデル病棟が設置され、長期療養にふさわしい環境が整備されていました。息子夫婦は心の底に一抹の不安を残しながらも母親の面倒をこの病院で見ていただくことに決めました。入院後、主治医や看護師さんは優しく丁寧に接しましたが、おばあさんは時々おじいさんの名前を呼んだり、看護師さんに家へ帰りたいと涙ぐみながら訴

えました。そして、おばあさんはきめ細かな治療や細心の看護の甲斐無く、数か月後に安らかに息を引き取りました。自宅での死を望んでいたおばあさんが最期にどう思っていたのか、息子夫婦の心の底に後悔の念が残りました。しかし、四十九日が過ぎ、初盆が過ぎ、やがて一周忌を迎えた頃には二人の心の底のつかえはすっかり消えていました。

さて、この病院の名前を「奈良厚生会病院」といいます。ひそかにコツコツと医療・看護・介護の向上を目指して発展してきた「知る人ぞ知る」病院ですが、言い換えれば、この病院の良さを「知らない人は全く知らない」病院で、情報発信が少なく、宣伝不足で、病院の良さが世間にもあまり知れ渡っていませんでした。

今年はこの物語を教訓に、より多くの人々に私たちの病院の良さを知っていただける



◆ 医療法人厚生会 経営理念

持続的な安定経営と発展に努め、地域の医療と介護に貢献します。

◆ 奈良厚生会病院 方針

- 1、安全で良質な医療と介護を提供します。
- 2、清潔な療養環境を提供します。

◆ 奈良厚生会病院 患者の権利章典

私たちは、科学的で安全性の高い医療と福祉を、患者と医療従事者の「共同の営み」として継続・発展させていくために「患者の権利章典」を定めます。

◆ 患者の権利と責務

- 1、良質な医療・看護・介護を公平に受ける権利
- 2、人格を尊重され、相互協力関係のもとでサービスを受ける権利
- 3、診療に関して十分な説明、情報を受け、自分の意志で選択する権利
- 4、プライバシーを保護される権利
- 5、患者自身の健康に関する情報を提供する責務
- 6、医療・介護上、理解できないことについて質問する責務
- 7、他の患者の治療や介護及び病院職員の医療・介護提供に支障を与えないよう配慮する責務

◆ 行動指針

- 1、患者さんの人格を尊重し権利を守ります。
- 2、医療従事者としての自覚と厚生会職員であることに誇りを持ちます。
- 3、相互の信頼と協調、気配りと思いやりのある態度で職務を遂行します。
- 4、自制と責任感を持ち、規律と厳しさのある職場を目指します。
- 5、常に自己研鑽に努めます。



ように積極的な情報発信を行い、患者さんやご家族をはじめ社会の多様なニーズに柔軟に対応できるように、そして、5年先10年先を見据え、これからも持続した安定経営と発展ができるような「強い安定した奈良厚生会病院」を目指して日々改善・改革を行っていきます。今年は、医療法人厚生会と奈良厚生会病院にとって、新たな飛躍と発展の年になります。皆さんと力を合わせて試練を乗り越え、病院にとつても、そしてみなさんにとつてもいい年になりますように、本年もどうぞよろしくお願いします。

日本看護学会学術集会に 参加して

B棟2階

看護師長 柳原リ子

2024年9月27日（金）29日（日）の3日間、第55回日本看護学会学術集会が熊本城ホールで開催されました。テーマは『健康危機における看護の真骨頂〜経験を糧に、次のステージへ〜』です。全国から4千人の医療従事者が集まり、当院からも看護管理者8名が参加いたしました。会場は10会場とポスター会場があり、講演発表、ポスター発表、シンポジウム、教育講演等の発表が約640演題ありました。

私が印象に残った講演は、国際医療福祉大学大学院副大学院長の福井トシ子先生の「人生100年時代のライフデザインと看護職としての学び」でした。

講演は以下のような内容でした。人生100年時代、20年学び、40年働き、20年間の老後を過ごすという人生設計は成り立たなくなっている。誰もが人生100年時代に備える必要があり、特に看護職は、日々の健康に貢献する為に、生涯にわたり学び、能力の

開発・維持・向上に取り組み責任がある。日本看護協会も学びとキャリア形成を通じて在りたい姿に向かって行けるように、生涯学習支援の取り組みを進めている。現在は医療・介護を含め、あらゆるものを取り巻く環境が常に変化し、将来の予測が困難になっており、VUCA（ブーカ）の時代と呼ばれている。VUCAとは、変動性・不確実性・複雑性・曖昧性の4つの単語の頭文字をとった造語である。また人生100年時代に向けて学び直しにリカレント教育が注目されている。リカレントとは、回復・循環・回帰を意味している。看護においてもリカレント教育は必要で、変化する社会・医療の中で求められる看護を提供するために、これまでのスキルのアップデートと新しい知識やスキルの獲得のために、継続して学ぶことが重要である。

この講演を聞き、以前勤務していた看護部の顧問が、84歳まで現役で働かれており、会議でよく「生涯現役」「挑戦・勉強」と言われていた言葉と重なり、「何歳になっても学び直しは出来る！」。自分の今後の人生設計の参考になりました。

人生100年、看護職が変化する社会、医療の中で求められる看護を提供する為には、何歳になっても学びを継続するとともに、自分達には予測不能な時代でも、柔軟に対応できる組織力を持つことが大切であると思います。病

院としてのビジョンを明確にして、多職種すべてのスタッフと共に歩み、地域に選ばれる病院を作っていきたいと思えます。

今回このような学会に参加させて頂き、ありがとうございました。



日本慢性期医療学会に

参加して

栄養科

管理栄養士 吉田 遥香

11月14日・15日パシフィコ横浜ノース（神奈川県横浜市）において第32回日本慢性期医療学会が開催され、演者として参加しました。「治し・支える良質な慢性期医療「サイエンス・アートの調和と統合」」をテーマに全国の慢性期医療を担っている様々な職種から多くの発表がありました。私は「中鎖脂肪酸を用いた栄養状態改善への取り組み」を題目に、栄養状態の改善に効果があるとされている中鎖脂肪酸（MCT）に着目し、症例研究・発表させて頂きました。



まず、当院でも日々栄養管理を行う中で低栄養の改善は頻繁に直面する課題であり、食事内容を検討した際、栄養量をUPさせると食事量も増えたりと、かえって利用者の負担になるケースが少なくありません。また高齢者は消化機能の低下により十分な栄養量を確保しているにも関わらず低栄養に陥りやすいことがわかっています。

中鎖脂肪酸（以下MCT）とは、一般的な油である長鎖脂肪酸に比べて消化吸収の経路が異なり、小腸から門脈を経由して直接肝臓に入り分解されます。そのため短時間でエネルギーとなります。最近ではスーパーマーケットなどでも販売されており、無味無臭でどんなお料理にもあいます。

今回、MCTオイルを普段の食事（6g/日）添加することで摂取前と摂取後のアルブミン値・体重の変化について検討しました。結果、MCT提供者では非提供者と比較し体重の減少・アルブミンの改善が見られました。

MCTは肝機能の影響を受けず体内での利用率が良い為、吸収がスムーズに行え、栄養状態の改善につながったと考えられます。本来、脂質や糖質は体内で脂肪として貯蔵されてから、枯渇した時にエネルギーとなりますが、MCTは体内で即時にエネルギーとして利用されます。また、MCTは体内の脂肪燃焼を促すことで基礎代謝をあげ、蓄積されていた体脂肪をエネルギーとして使用する為体重減少につながったと考えられます。

MCTは無味無臭で負担なく摂取しやすいため、普段の食事にも取り入れやすいです。今回の症例研究を機にMCTをうまく取り入れ栄養状態の改善を図っていきたいと思っています。

また今回、他院の管理栄養士の多くの演目を拝見し、他院それぞれの課題が当院にも当てはまることもあり、新しい視点から栄養管理を学ぶことができ大変勉強になりました。今後当院でも患者様によりよいお食事を提供できるように取り組んでいきたいです。

おまけ

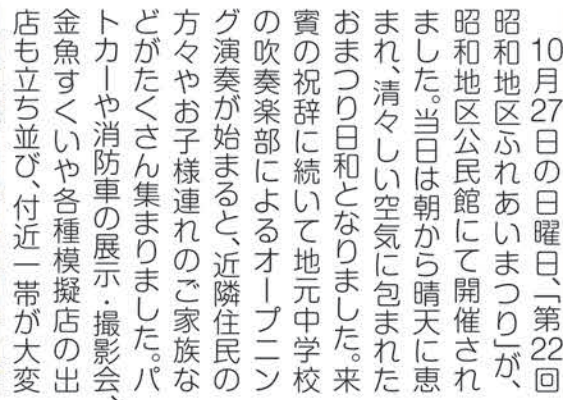
かけて、混ぜるだけ！日常的にMCTを取り入れよう！！

（注意）MCTオイルは他の油脂と比較して沸点が160℃と低く、加熱すると簡単に白煙が出ることがあるため、揚げ物や炒め物には使用しないようにしましょう。

◎サラダのドレッシング
◎牛乳（100ccに小さじ2）
◎ご飯に炊き込む（米1合に小さじ2）

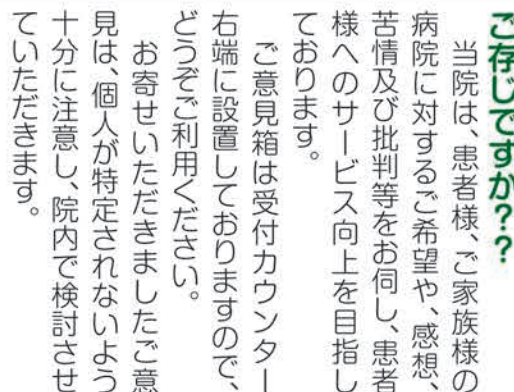
また1日の摂取量が多いと、お腹がゆるくなることがあります。





総務課 岸本 憲治

奈良厚生会病院は、これからも継続して交流の場に参加し、地域の皆様の積極的な健康づくりにも少しでも役立てるよう、努めてまいります。



ご意見・ご感想をお聞かせください

記入日 年 月 日

外庫 → 入院

氏名 _____（署名でも少しくましても可）

※記入された方の氏名に「A」で当院入病棟の患者登録が認められるようになります。

御意見箱

「金(かね)と
目(め)び」と

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。さて、今年は巳年（へびどし）です。へびというと気味が悪いと思う方も多いと思いますが、白へびが金運をつかさどる弁財天の化身とされることから「金運の年」として広く知られています。去年末に発表された令和6年の漢字は「金」でした。オリンピックの輝かしい記録としての「金」は大歓迎ですが、裏金問題や闇バイト、物価高騰等、影の「金」は全く歓迎できません。まだまだ議論されている103万円の壁もあり、引き続き「金」には振り回されそうです。

本年は今号での寄稿にもありますように日々、コツコツと質の向上を目指した病院の活動内容等をしつかり情報発信していこうと考えており、新年度にはホームページのリニューアルも計画しています。

活動内容が竜頭蛇尾とならないよう、職員一同、一生懸命取り組みでまいります。